

野菜の生育状況及び価格見通しについて【6月後半・7月前半】
(東京都中央卸売市場における主産地及び卸売会社からの聞き取りによる)

(総論)

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	だいこんの生育は順調。 にんじんは、4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。
葉 茎 菜 類 (キャベツ、レタス等)	キャベツ、ほうれんそう及びレタスの生育は順調。 ねぎは、4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	生育は順調。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及び たまねぎ)	ばれいしょでは、4月上中旬の記録的な日照不足による品質低下が発生。 さといもでは、降雨等に伴う疫病の発生による収量の減少や4月上中旬の記録的な日照不足、4月下旬以降の干ばつ等による品質低下が発生。 たまねぎでは、4月上中旬の記録的な日照不足及び4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。

(各論)

品 目	主 産 地 (※()書きは 昨年7月の入荷 シェア。)	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価格見通し (平年比)	
			6月後半	7月前半
だ い こ ん	北海道(58%) 青 森(37%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月後半は、<u>産地が関東から北海道及び東北に切り替わる</u>時期。 ・ <u>北海道及び東北産の生育が順調</u>であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並み で推移	平年並み に推移

にんじん	青森(39%) 千葉(31%) 北海道(26%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月後半は、<u>産地が関東から東北及び北海道に切り替わる時期。</u> 6月後半は、<u>関東の産地における4月下旬以降の干ばつ等による品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 7月前半は、東北及び北海道産の生育が順調であるが、本格的な出荷は7月後半以降であることから、<u>出荷数量、価格は回復傾向であるが、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
はくさい	長野(93%) 群馬(6%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月後半は、<u>産地が平地の茨城県から高冷地の長野県に切り替わる時期。</u> 6月後半は、<u>平地の産地にあつては、昨年の秋冬はくさいの価格低落に伴う、4月から6月までに出荷される春はくさいの作付けの抑制に加え、出荷が早く終期を迎えると見込まれることから、高冷地の産地の生育が順調であるものの、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 7月前半は、産地が切り替わり、<u>出荷数量、価格は回復傾向であるが、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
キャベツ	群馬(64%) 岩手(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月後半は、<u>産地が関東の平地から高冷地に切り替わる時期。</u> 関東の平地の産地における4月下旬以降の干ばつ等からの回復に加え、6月後半より生育の順調な関東の高冷地の産地からの出荷が始まったことから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並み に推移	平年並み に推移
ほうれんそう	群馬(26%) 栃木(25%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東産の生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並み に推移	平年並み に推移
ねぎ	茨城(57%) 千葉(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月後半は、<u>収穫終期の関東の産地にあつては、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 7月前半は、主産地の茨城県産の生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。</u> 	高値水準 で推移	平年並み に回復

レタス	長野(84%) 群馬(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月からは、<u>関東の高冷地産地からの本格的な出荷が始まっており</u>、生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みに推移	平年並みに推移
きゅうり	福島(37%) 岩手(17%) 秋田(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地に加え、<u>東北の産地からの出荷が始まっており</u>、生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みに推移	平年並みに推移
なす	群馬(24%) 茨城(23%) 栃木(23%)	<ul style="list-style-type: none"> 6月から7月にかけて、<u>産地が西日本から関東に切り替わる時期</u>。 6月前半は、<u>西日本の産地から順調に出荷されたことで、平年並みの価格で推移</u>したが、<u>6月後半は、西日本の産地では、4月上中旬の記録的な日照不足により樹勢が低下しており、出荷の切り上げが早くなる見込み</u>であるため、<u>出荷数量が平年を下回り、価格は平年を上回る見込み</u>。 7月前半は、<u>関東の産地では生育が順調であるものの、西日本の産地の出荷の切り上げが平年よりも早くなる見込み</u>であるため、<u>出荷数量が平年を下回り、価格は平年を上回る見込み</u>。 	高値水準で推移	高値水準で推移
トマト	青森(17%) 北海道(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みに推移	平年並みに推移
ピーマン	茨城(45%) 岩手(23%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みに推移	平年並みに推移
ばれいしょ	茨城(31%) 静岡(22%)	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、<u>4月上中旬の記録的な日照不足による品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。 	高値水準で推移	高値水準で推移
さといも	宮崎(47%) 鹿児島(44%)	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、<u>生育期の降雨等に伴い、一部ほ場で疫病が発生したことによる収量の減少や4月上中旬の記録的な日照不足、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。 	高値水準で推移	高値水準で推移
たまねぎ	佐賀(36%) 兵庫(35%)	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、<u>4月上中旬の記録的な日照不足や、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。 	高値水準で推移	高値水準で推移